

令和4年度信州子どもカフェ推進上田地域プラットフォームの主な取組

◆子どもカフェ交流会

6月14日(火)のプラットフォーム全体会と同時開催で、会場とZoomをつなぎ18名が参加。コロナ下における現状の報告と課題の共有が行われました。多くの子どもカフェが会場を公民館などの公共施設で行っており、調理室の使用が難しい中、食料や文房具・日用品の配布や地域の飲食店のご協力で弁当の配布を行うなど、それぞれの工夫と熱意を共有できました。また、コロナ感染防止対応後の展開についても抱負が語られ、前向きな気持ちとなる交流会となりました。

◆地域内子どもカフェ運営団体への助成

食品購入費・備品消耗品に充てる経費6万円を子どもカフェ運営団体へ支援しました(申請制)。助成団体は以下の9団体となりました。(むすびえ子ども食堂基金)

- ①武石えんカフェ ②にじいろ Café ③だれでも食堂 ④みんなのしおだ食堂
- ⑤子どもレストランきらっと ⑥おけまる食堂 ⑦子どもだれでも居場所くる me
- ⑧英師館 ⑨みんなの居場所しおじり&だらっと



◆地域内子どもカフェへ夏場開催時の飲料支給

7, 8, 9月飲料を子どもカフェ運営団体の希望に応じて支給しました。(むすびえ子ども食堂基金)

◆子どもカフェ情報カードの更新

隔年で更新している子どもカフェ情報カードを更新し、上田地域内の全小中学校・児童生徒に教育委員会を通して配布しました。(むすびえ子ども食堂基金)



◆飲食補助券事業「ハッピーチケットプロジェクト」を展開

昨年に続き第3回ハッピーチケットプロジェクトを展開、長引く新型コロナウイルス感染症拡大防止対応の中、子どもカフェが開催できない時期も地域のご協力をいただきながら共に子どもたちの未来・日常のワクワク感を支援・見守る取組みとして協力飲食店で利用できる「飲食補助券」を、各子どもカフェを通じて12月上旬から令和5年2月28日まで、子どもカフェ参加者に配付しました。補助の金額は昨年同様チケット1枚300円分！1回で複数枚使用できることから使用率53.4%と大好評でした。このプロジェクトに参加した子どもカフェは12団体、協力飲食店は17店舗での展開となりました。(ろうきん子ども基金)



◆物資の循環拠点として子どもの居場所活動を支援

今年度は、6月13日～7月15日、10月1日～31日、11月21日～12月21日と上田合同庁舎にてフードドライブを開催。毎回支援物資を運んでくださる地域の企業様もあり、支援の輪が広がってきました。また、まるこ福祉会の冷凍倉庫使用のご協力でNPO法人NPOホットライン信州を通した多くの企業様からの寄贈品を子どもカフェ・子どもの居場所へ届けることができました。また同じくプラットフォームメンバーのコープながので集めた未使用文房具の寄贈など、プラットフォーム内でも多くのご協力を得、物資の循環拠点としての仕組みづくりに取り組んでいます。

